



働く
福井人の

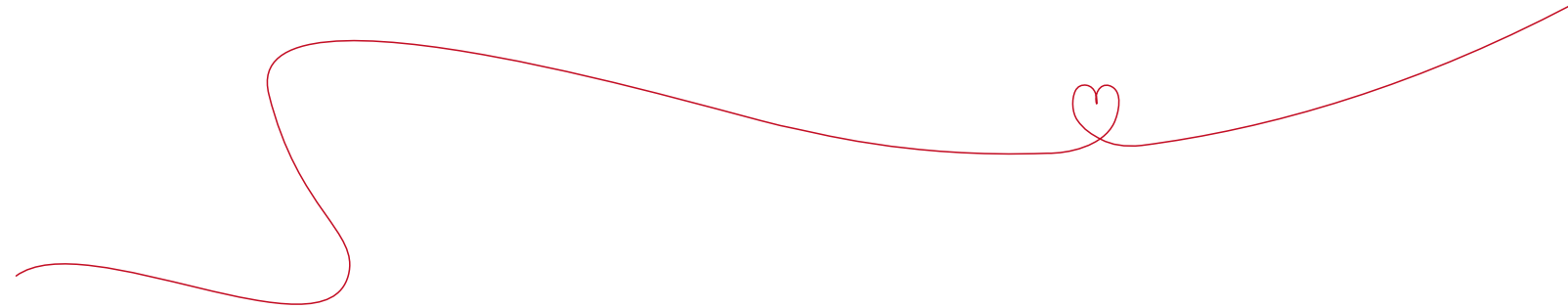
Case Studies



結婚応援



ガイドブック



働く福井人の



結婚応援



ガイドブック

Guide book to support marriage for men and women working in Fukui

福井県の結婚事情

データから見た福井の結婚にまつわる実情をご紹介します。

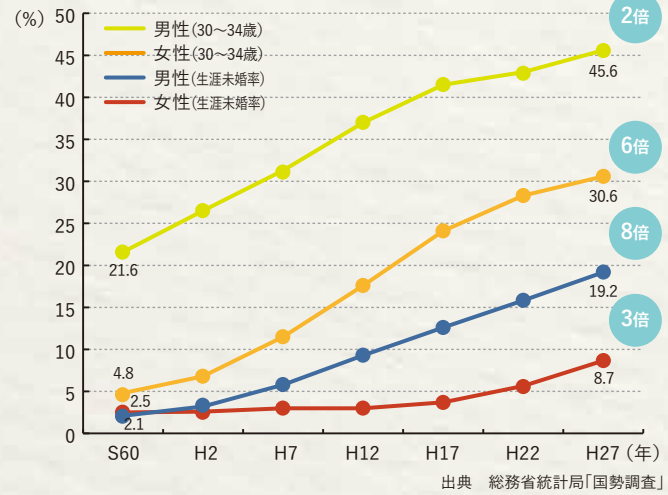
GRAPH 01 未婚化・晩婚化の現状

全国的に、未婚化や晩婚化が進んでいます。これは「結婚することだけが幸せではない」など、価値観が多様化したことや、女性の高学歴化・社会進出が進むにつれ、結婚する年齢が上昇したことが一因といわれています。

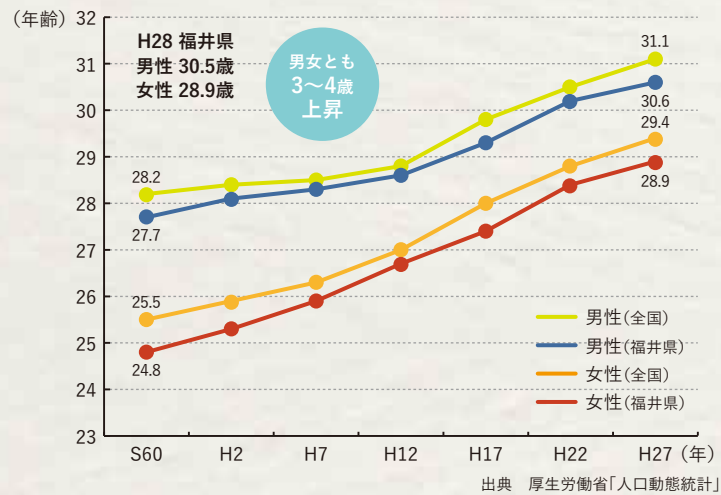
福井県の未婚化・晩婚化の水準は全国と比較するとまだ低いと言えますが、それでも30年前と比べ、30代前半の男性の未婚率は2倍に、女性では6倍になっています。さらに、生涯未婚率も女性が3倍でおおよそ10人に1人、男性は8倍でおおよそ5人に1人が未婚という状況になっています。

また、平均初婚年齢は30年前と比べ男女とも3〜4歳上昇し、男性は30歳を超えています。

福井県の未婚率の推移

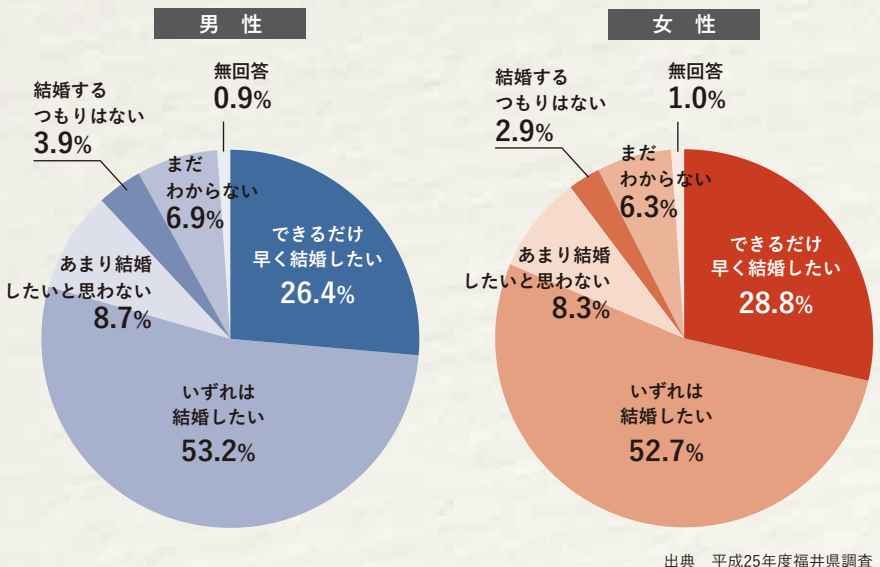


平均初婚年齢の推移



GRAPH 02 結婚の意欲

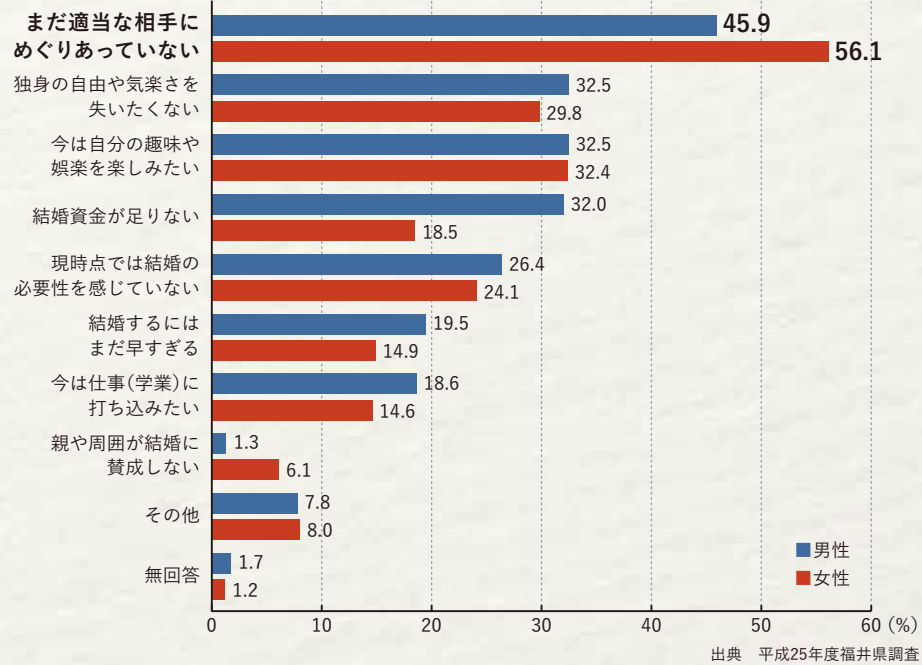
では、未婚者は結婚を望んでいないのでしょうか。平成25年に20〜39歳の未婚男女に向けて実施された福井県調査によると、男女ともに約80%の人が「できるだけ早く結婚したい」「いずれは結婚したい」と回答しています。



GRAPH 03

独身でいる理由

同調査では、「まだ適当な相手にめぐりあっていない」が群を抜いてトップとなっています。言い換えれば、男女ともに約50%の独身者が出会いを求めているのです。そのほかには、「独身の自由や気楽さを失いたくない」や「今は自分の趣味や娯楽を楽しみたい」などの回答も価値観の多様化により増えています。

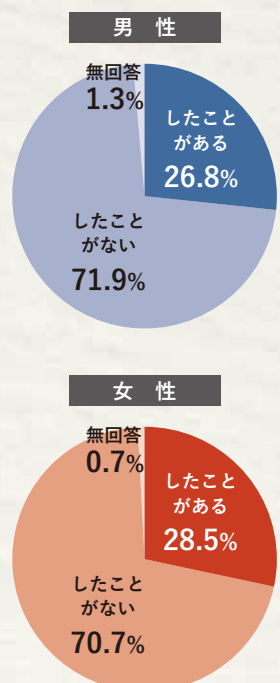


GRAPH 04

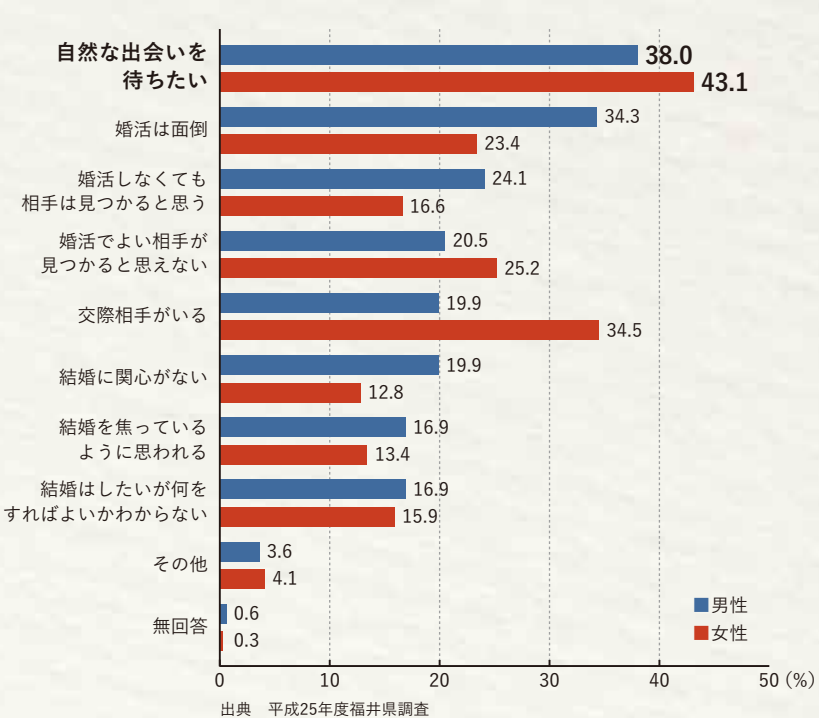
婚活経験の有無、婚活しない理由

福井県の未婚者で婚活をしたことがある人は、男女とも約3割で、残りの7割は婚活をしたことがないと回答しています。「自然な出会いを待ちたい」という理由で婚活をしない人が男女で約4割と一番多く、普段の生活の中で自然に交際相手と巡り合うことを期待している人が多いようです。

婚活経験の有無



婚活をしない理由



従業員が幸せな会社は 明るくて元気です！



「結婚応援って会社がすること？」と思う方もいるでしょう。しかし、実際に「幸福感の高い社員は、生産性・売上・創造性も高い」という研究結果も出ています。つまり、従業員の幸せが会社の業績アップなどのメリットに繋がる可能性は充分にあり、見過ごせないことなのです。

POINT

結婚を希望する従業員の「幸せ(出会い・結婚)」をサポートし、ワーク・ライフ・バランスを推進しながら結婚後も働きやすい職場づくりを進めることで、次のような相乗効果が得られ、会社全体に良い循環をもたらすことが考えられます。

- 心身ともに健康に
- 満足度ややる気がアップ

⇒離職率の低下

- 企業イメージや評価がアップ

⇒優秀な人材が確保しやすくなる

声かけ時のNG!フレーズ

状況や考え方は人それぞれです。

従業員一人ひとりの気持ちを大切にしましょう。以下の声かけはNGです!!



NG! 「恋人はいないの?」「結婚する気は?」

結婚や交際は、とてもプライベートなことです。いきなりストレートに切り込むのではなく、日々の会話から相手の様子を知り、まずは気軽に結婚に関する話ができるような信頼関係を築きましょう。

NG! 「〇〇さん、今度婚活イベント行くんだって!」

例えば、婚活していることをオープンにしている従業員にも、知られたくないことはあります。現状を詮索したり、ましてや社内に言いふらすのはご法度。静かに見守ることも優しさです。

NG! 「あなたの結婚観・家族観は?」など突然の質問

いきなり質問するのではなく、まずあなたのことを話す方が会話はスムーズに進みます。「私はこうだったけど、あなたも結婚考えたりする?」といった声のかけ方があります。

NG! 「今度、婚活イベントがあるから参加しなさい」

強制は厳禁です。基本的に、婚活は業務とは無関係ですので、本人の意向を無視した強制はパワーハラスメントになる可能性があります。

NG! 「いい歳なんだから結婚すべき」

交際・結婚についての考え方は千差万別。あなたの考えを押し付けず、本人の意思を尊重しましょう。



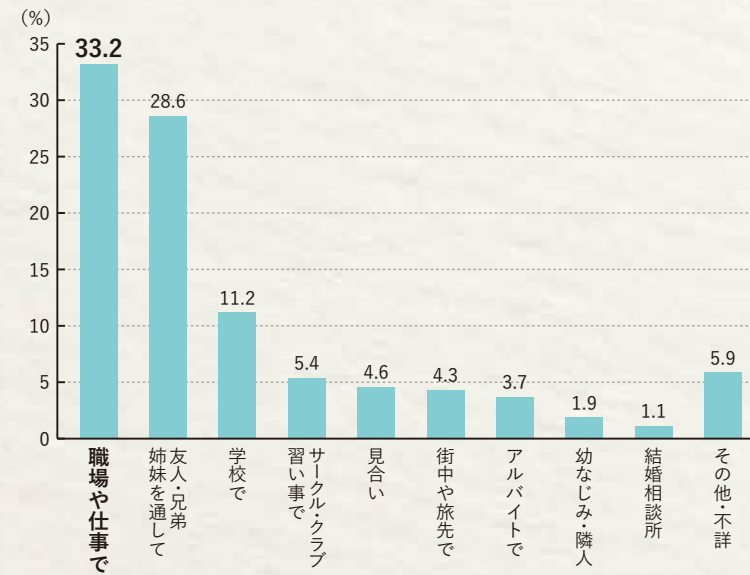
従業員の気持ちを大切に・・・



関心がある人には次のページから紹介する事例を参考にサポートを!

関心がうすい人には強引に話を進めず、あたたかく見守りましょう

GRAPH 05



出典 第15回出生動向基本調査(平成27年)(国立社会保障・人口問題研究所)

全国的に見て、職場や仕事での出会いが3組に1組と、最も多くなっています。社会人になると、職場や仕事関係の中で多くの人のつながりができ、そのつながりによって直接的または間接的にパートナーと出会う機会が多くなっていることがうかがえます。

夫婦が出会った きっかけ

職場や仕事での出会いを支援

福井の「つながり力」を活かした結婚支援として、企業や団体に「ふくい結婚応援企業」の登録を呼びかけ、職場のつながりを活かした縁結びを推進しています。



「ふくい結婚応援企業」とは

社内に「職場の縁結びさん」を配置していただき、希望する独身従業員への婚活イベントの情報提供や、社内外で交流会を行ってもらうなど、従業員の出会いと結婚を応援する企業・団体です。

取組例

- 希望する従業員への婚活イベント情報や、県の結婚支援制度の紹介
- 企業内や他企業との交流会(合コン)の開催
- 独身者向けのレクリエーションの開催(社内)
- 従業員が結婚・子育てしやすい職場環境づくり など



登録している企業には、「職場の縁結びさん」対象の研修や交流会、婚活応援サイト「ふくい婚活カフェ」での企業情報紹介など、様々な支援を行っています。



複数の企業が協力し合い 出会いと交流の場を創出



株式会社アートテクノロジー
プロ・リソース事業部
管理部 部長
竹島 隆之助 さん

5社合同の交流会を開催。
ユニークなゲームで
盛り上がり、
カップル誕生の進展も！

“近年の若者”と、 福井の結婚観

「最近の若い子は」などとひとくくりにはできませんが、近年言われている「男性は草食化、女性は肉食化」の傾向は当社でも感じるがあります。後ほどご紹介する交流会、いわゆる合コンの参加者を募ったとき、「行きたい！」と積極的だったのは女性で、男性の反応は今ひとつでした。

女性もキャリアを積む時代になり、「誰もが結婚すべき」とまでは思いませんが、福井では、周囲からの「結婚せなアカン」というプレッシャーが強いみたいです。そのような中、結婚したいけれど出会う機会がない、踏み出せない、といった若者たちを企業が支援しようという動きは、自然で意味のあることだと考えています。

「合同交流会」を開催

当社の「結婚応援企業」登録は平成28年10月。社長からの情報提供がきっかけで、僕と女性社員1名が「縁結びさん」になっています。

最初の取り組みは、5社合同で開催した交流会（合コン）です。平成29年5月に『福井県生活学習館』の『縁結び交流室』で、夜でしたがお酒は出さず、オードブルなどの料理を用意しました。準備はインターネットで調べながら進め、シナリオも自作しました。



楽しみながら 知り合う工夫

参加者は約40名。くじ引きで席を決め、ゲームなどを楽しんでいただきました。例えばビンゴゲームでは、「ふるふる券」という、互いの連絡先を交換する券を男性用・女性用それぞれ用意し、勝った人は、その券で連絡先を教えるというルールにしました。予想以上に盛り上がり、他社では、その後この会で知り合った方たちと個別で合コンをしたという話も聞いています。

結婚応援には “気配り”が必須

婚活関連の情報提供はグループウェアと掲示板で行い、東京支社の社員も見ることが出来ます。

今後気を付けたいのは、上役の人間が交流会などの話を持ちかけると、強制的なものと思われる恐れがあることです。また、婚活関係の連絡や質問を、周囲に聞こえるような大きな声で行ってはいけないなど、常に一人ひとりの性格や環境に気を配りながら進めていくことが必要だと感じています。

株式会社 アートテクノロジー

[住所] 〒916-0037
鯖江市上河端町6-1-33
[TEL] (0778)54-8080
[URL] <https://www.art-tec.co.jp>



他社との合同イベントで リフレッシュ＆交流を



株式会社米五
常務取締役

多田 健太郎さん

「米五（老舗味噌屋）
vs 御素麺屋（老舗菓子屋）」！
企業間交流のための「運動会」が
社員同士の交流の場に

他社との交流が視野を広げ 新しい出会いを生む

「結婚応援企業」に登録したのは平成28年12月。県からの案内がきっかけです。当社社員の約半分が20代で、ほとんどが未婚のため、他社さんの面白い取組みがあれば参考にしたいと思いました。

そういった経緯もあり、交流を目的に「芝政リレーマラソン」に出場していたところ、それをご覧になられた御素麺屋さんが平成28年に、社内運動会を開かれたのです。御素麺屋さんとは、以前からお付き合いがあったので、「次はうちといっしょにやりませんか」と声をかけました。そして、平成29年5月に実現。全社員対象の運動会でしたが、社外の人と知り合うきっかけになればという期待と目論見もありました。

“両社らしさ” 満載の運動会

会場の『福井市営体育館』を押さえたり器具を手配したり、運営の中心であり裏方だったのが株式会社御素麺屋 専務取締役の小寺祐次郎さんと私ですが、同時に両社の若い社員も加えた準備委員会を立ち上げ、前年12月から月1回集まって競技内容や賞などについて決めていきました。

玉入れでは、玉の中に御素麺屋さんの紅白饅頭を紛れ込ませ、饅頭を入れたら10点加算にするなど、両社らしい運動会になりました。



社員派遣の 業務交流に発展！

運動会を開催するにあたり、「米五 vs 御素麺屋」で、勝った方が1週間程度負けた方の社員をもらおう」という冗談話から、社員の交換研修が実現しました。後日、御素麺屋さんの販売員さんに1週間、当店で働いていただき、次は当社の製造社員が1週間、御素麺屋さんの工場へ。食品製造という共通点がある中、派遣された両社の社員は多くの刺激を受け、「非常に良かった」と喜んでいました。

新たなつながりを作る お手伝い

運動会では、夜も引き続き懇親会を開くなど、お互いの社員同士が交流できる時間を設けました。この取組みが新聞で紹介されたことで、他社から参加希望の申し出があり、平成30年は5月に4団体で開く予定です。多くの若い人が参加し、新しい交流が生まれるといいですね。

今後も、結婚支援を希望する社員に婚活情報を提供するとともに、他社や行政の方と協力しながら、交流の機会をつくっていかれたらと思っています。

株式会社米五

[住所] 〒910-0019
福井市春山2-15-26
[TEL] (0776)24-0081
[URL] <https://www.komego.com>



そば打ち体験イベントで 出合いのきっかけづくり

一緒に作れば、会話も弾む



越前そばの里
株式会社武生製麺
営業部 主任
三宅 中さん

常設の体験施設を会場に
「婚活イベント」を開催。
カップルも誕生！

県庁エントランスの展示パネルで、「結婚応援企業」としてさまざまな企業が登録されていることを知り、当社も社会貢献の一環として平成28年3月に登録しました。弊社の「そば打ち体験施設」はカップルの利用も多いんです。そこで早速、その年の秋に「そば打ち体験イベント」を開催し、男女各9名が参加。新聞には「カップル4組誕生」と掲載されましたが、さらに数名の方が連絡先を交換されています。初めての婚活イベントで、楽しい雰囲気になるかどうか心配でしたが、皆さん、そばを作りながらお話しが弾み、たいへんな盛り上がりとなりました。最後のケーキを食べ終わったあたりで話したお二人の姿が印象的でした。

僕は進行役だったのですが、当時はまだ独身で、参加者になりたいくらいでした（笑）。今後も、このような出会いの機会を設けていきたいなと思っています。



越前そばの里 株式会社武生製麺

[住所] 〒915-0005
越前市真柄町7-37
[TEL] (0778)21-0272
[URL] <https://www.echizensoba.co.jp>



合コン、そしてお見合いも 結婚をきめ細かく サポート

企業理念にもマッチ 一人ひとりの意向に配慮

当行は「結婚応援企業」第1号なんです。この取り組みは、「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」という当行の企業理念にもマッチすると考えています。

最初に実施したのは、全社員へのメッセージ発表。「ワーク・ライフ・バランスのライフを充実させるために結婚応援に取り組む」という方針を伝えるとともに、私も含め、縁結びさんの名前をお知らせしました。

活動の中心は他社さんとの合同コンパで、年2〜3回、計10回くらい開いています。参加者が多いと1対1の話が深まらないので、最近はお見合い3人ずつくらいですね。お見合い

を希望する人や、連絡は不要という人もいますので、各々の希望を聞いて対応しています。

個を尊重しながら 支援を継続

結婚応援で気を付けたいのは、会社からの押し付けとを感じる人も出てくること。他社さんからも、パワハラといわれることを危惧する声も聞かれます。当行でも、女性の私（異性である）男性社員に合コンの連絡をするよりも、年齢が近い同性の既婚者からの方が良い場合もありました。

私自身は、結婚し子育てができて良かったと思っていますので、家族をつくる素晴らしさを若い人に伝えていきたいと思っています。

地元企業や地域の人々との
関わりが密接な事業内容を
基盤に、他社との交流会などを
積極的に開催。



株式会社 福井銀行
人財開発チーム
サブリーダー
小川 早登子さん

株式会社福井銀行

[住所] 〒910-8660
福井市順化1-1-1
[TEL] (0776)24-2030
[URL] <https://www.fukuibank.co.jp>



保険事業の特性を生かし 結婚応援で地域貢献



明治安田生命保険相互会社
福井支社
法人・職域開拓課長
(兼)代理店営業室長
熊谷 幸喜さん

県内3地区の結婚式場で
「婚活イベント」を開催。
反響は大きく、
営業推進との相乗効果も期待。

カップリングイベントに たくさんのお客さまが参加

当社では、地域貢献とともに、お客様
あるいは将来のお客様と接する機会が
得られることに意義を感じ、「結婚応援
企業」に登録しました。

活動の中心は「婚活イベント」といわ
れる「男女カップリングイベント」です。
平成29年3月に福井市の結婚式場で第
1回目を開き、男女各74名ずつが参加さ
れ、7組のカップルが誕生しました。

また、当社は越前市と敦賀市にも営
業拠点がありますので、これらの市で
1回ずつ、さらに福井市で2回と、計6
回開催しました。

アドバイザーと呼ばれる営業職員が出
入りさせていただいている職場で案内を
配り、さらに口コミで広げていただき、各
回平均100名、20代前半から50代まで幅
広い年齢の方に参加いただきました。

手探りでスタート

このイベントを始めるに当たって
は、10人が担当となって、意見を出し
合いながら進めました。1回目開催の
ときは、何度も会場の下見に行き、音響
や照明などについて式場の方と打ち合
わせを行いました。手探り状態でした
が、やはり式場スタッフの方は慣れて
おられるので助かりました。

参加者にはリピーターの方も多く、
いただいたご要望は今後の企画に役立
てたいと思っています。



楽しみながら カップル誕生

イベントの時間は19時から約2時間。
ゲームやクイズで打ち解けた後に、男女
それぞれが全員と話をする時間を設けま
した。最後のフリータイム終了後に「告白
カード」に気に入った人の番号を書いて
いただくという流れです。実はこのイベ
ントの司会は毎回僕が務めておりまし
て、雰囲気は大事なので、テンポよく盛
り上げ、その甲斐あってか、概ね10人に
1人がカップル成立となりました。

婚活と営業、 両方に成果あり

今回のイベントでは、予想以上の参加
者があり、婚活の機会を求めている独身
の方が多いことがわかりました。当初、地
域貢献として結婚に繋がるイベントを、
という趣旨と併せて、地域のお客様に当
社を好きになっていただくことも視野に
入れていたのですが、実のところ、当社の
さまざまなイベントの中で、これほど集
客できたことはないです。これからもア
イデアを出して続けていけば、両方で成
果があるのではと期待しています。

明治安田生命保険 相互会社 福井支社

[住所] 〒910-0005
福井市大手2-7-15
[TEL] (0776)22-1150
[URL] <https://www.meijiyasuda.co.jp>

「ふくい 結婚応援 企業」を募集します

若者の幸せな出会いと結婚を応援しませんか

福井県でも、未婚化・晩婚化が進んでいます。結婚を望む独身従業員を職場がサポートするふくい結婚応援企業に登録し、社会全体で若者の出会いと結婚を応援しましょう！

対象企業・団体

福井県内に所在する企業・団体（部署、支店、工場等の単位も可）

主な活動内容

▶企業・団体のご担当者「職場の縁結びさん」をご指名ください。結婚を希望する独身従業員の出会いと結婚をサポートしましょう。



県の結婚支援事業のお知らせ

「地域の縁結びさん」、「結婚相談所」、「ふくい婚活カフェ」など、県の結婚支援事業をご紹介します。



交流イベントへの参加ご案内

定期的にお送りする交流イベント情報をご案内ください。



結婚応援企業同士で交流会を開催

職場の縁結びさん同士が話し合い、独身者を対象とした交流会（合コンなど）を開催してください。企業間交流婚シェルジュがご相談に応じます。

▶県からお送りする「結婚応援ポスター」を掲示して、結婚を応援する機運を高めてください。



登録企業・団体の広報

県庁1階県民ホールに社名を掲示します。県のホームページ等で広報・PRします。



お問合せ・登録申込

福井県総合政策部ふるさと県民局女性活躍推進課
出会い創出支援グループ

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1 TEL: 0776-20-0362 FAX: 0776-20-0632
E-mail: joseikatuyaku@pref.fukui.lg.jp



企業・団体が結婚支援を行うことの意義と留意点



代表 板本 洋子

NPO法人全国地域結婚支援センター

若い世代や独身男女への結婚支援については、地域における支援に加えて、地域を構成する一員として企業や団体が連携しての支援が広がってきています。そこには、地域での支援とは違う慎重さが必要となり、さまざまな配慮が求められています。

企業や団体など狭い職場のなかで自身であるかどうかを聞かれることを気持ちよく思わない人もいます。個人情報・プライバシー、ライフスタイル、結婚の選択の自由など、個人的なことを知られたくない人もいますし、企業の支援を結婚の強要ととらえ、パワーハラスメントと感じる人もいます。

企業は労働規約にもとづいて個々に契約して仕事をすることで、これに対し、結婚は仕事外の個人の選択です。組織的な動きに敏感になる人もいるなど、細かい問題を含んでいます。そのことに加え、社員の思いなどに配慮をしながら結婚支援は行われているようです。例えば、社内に婚活イベント案内のチラシを置いたり、ポスターを貼ったりするところもありますが、もし、社員のな

かにそれを嫌だと感じる人がいれば、取り下げて職場の婚活サポーターさんが、メールなどで個別に伝えるという方法もあります。サポーターさんや、社員自身が早めに仕事を切り上げ、他の会社の方々と一緒に合同で「異業種交流」として出会いイベントを開催することもあります。

休日も一律ではありません。企業によって休日が違うこともあります。平日や時間帯を変えたイベントなど参加しやすい企画をしているところもあります。あるところでは、市内の数十社のサポーターさんが、参加希望の独身社員をつれて婚活イベントに参加し、30〜40人の独身男女の交流と同じ会場でサポーターさん同士も名刺交換を行うなど、企業交流で盛り上がりつつあります。

こうした動きは地域の活性化や、結果として企業の地域貢献に繋がるのではないのでしょうか。結婚支援は「働きやすい職場環境づくり」「地域の仲間づくり」でもあり、この街で生きようという若い世代への応援でもあります。多様な生き方を求める人々を抱える企業の理解と判断が社会を変えるのかもしれない。

結婚支援から出産・育児まで含めたトータルな支援に向けて

福井労働局雇用環境・均等室
室長 森田 邦子

結婚支援の取組を会社のトップや人事部門がリードして進める場合、まずは、現場に結婚や出産をためらわせ、仕事と育児の両立を難しいと感じさせる雰囲気がないか、確認してみたいかがでしょうか。出会いの機会を増やして幸せをつかんでほしいというせっかくの思いも、その意図が正しく現場の管理職や働く皆さんに伝わっていないと、かえって不信感を抱かれてしまうこともあります。

〈チェックポイント〉

- つわり休暇や育児、育児短時間勤務を遠慮なく利用できるよう、制度化し、日頃から周知していますか。
- 「寿退社おめでとう」や「休暇制度はあるが、実際には利用できない」と言ってしまう上司、つわりで欠勤・早退する社員にあからさまに迷惑という態度を示してしまう同僚がいるなど、いわゆるマタニティ・ハラスメントが生じていませんか。
- 出産や育児のための休業は個人のワガママではないという方針の徹底、休業者が生じた場合の業務体制の整備、相談窓口の設置などマタハラ防止措

置を講じていますか。

- 昇進・昇格での評価やボーナスの支給で育児休業や短時間勤務が過度にマイナス評価され、取得をためらうようなものとなっていないか。逆に本人が希望していないのに、復帰後の仕事の与え方が過度に配慮したもの（マミートラック）となっていないか。
- 両立を支援する上司（イクボス）や休業者をサポートする同僚を評価する仕組みを取り入れていますか。
- 転勤をさせようとする場合は、男性も含め育児の状況に配慮していますか。
- 長時間労働が常態化し、仕事との両立は困難と考え、自ら退職を選んだり、復帰後はパートを選んだりする職場環境に、また、アルバイトの時間が取れず、自分で結婚相手を探す余裕がでない職場環境になっていませんか。

結婚後の働き方も視野に入れて、主体的・計画的に人生設計ができる職場づくりに、ぜひ多くの企業に取り組んでいただきたいと思えます。